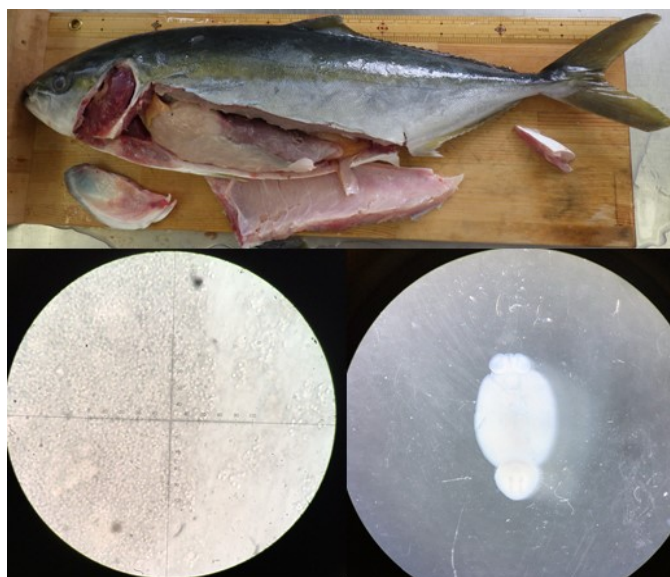


養殖用ブリ種苗の導入前検査を実施

本府のブリ養殖は、体重 1 kg 程度の小型魚（種苗）を他県から購入し、半年から 1 年かけて 4 kg 前後まで育て、単価が高くなる冬季に市場へ出荷します。高品質の魚を養殖するためには、健康な種苗を導入することが不可欠です。

そこで、当センターでは、5 月 9 日から 16 日にかけて 4 回、今春導入予定のブリ種苗について、事前に寄生虫や病気の有無を調べ、種苗の健康度を診断しました。検査の結果、人には害のない寄生虫がわずかに確認されましたが、ブリ種苗の健康には特に問題ないことが分かりました。

このように、迅速に検査し、漁業者に情報提供することにより、魚類養殖業の経営安定と高品質な「伊根ぶり」を消費者に安定供給することを支援しています。



上：検査中のブリ種苗

下：一部の魚から寄生虫を確認